

この添付文書をよく読んでから使用してください。

体外診断用医薬品

※※2015年3月改訂（第4版）

※2008年11月改訂（第3版）

承認番号 20500AMY00048000

品番 **32 500**

培養同定・一般細菌キット

ID 32 スタフ アピ

(ID 32 STAPH)

ブドウ球菌同定用

【全般的な注意】

- 本品は、体外診断用であり診断以外の目的に使用しないで下さい。
- 診断は他の関連する検査結果や臨床症状等に基づいて総合的に判断して下さい。
- 添付文書以外での使用方法については保証致しません。
- 使用する機器の添付文書等をよく読んでから使用して下さい。

【形状・構造等（キットの構成）】

＜構成試薬の名称＞

（基質）ID 32 スタフ アピ プレートの成分

	基質	記号
1.0	尿素	URE
1.1	L-アルギニン塩酸塩	ADH
1.2	L-オルニチン塩酸塩	ODC
1.3	エスクリン	ESC
1.4	ブドウ糖	GLU
1.5	果糖	FRU
1.6	D-マンノース	MNE
1.7	D-マルトース	MAL
1.8	乳糖	LAC
1.9	トレハロース	TRE
1.A	D-マンニトール	MAN
1.B	ラフィノース	RAF
1.C	D-リボース	RIB
1.D	D-セロビオース	CEL
0.0	硝酸カリウム	NIT

0.1	ピルビン酸ナトリウム	VP
0.2	2-ナフチル-β-D-ガラクトシド	βGAL
0.3	L-アルギニン-β-ナフチルアミド塩酸塩	ArgA
0.4	β-ナフチルリン酸ナトリウム	PAL
0.5	L-ピロリドニル-β-ナフチルアミド	PyrA
0.6	ノボビオシンナトリウム	NOVO
0.7	白糖	SAC
0.8	N-アセチルグルコサミン	NAG
0.9	D-ツラノース	TUR
0.A	L-アラビノース	ARA
0.B	p-ニトロフェニル-β-D-グルクロニド	βGUR

<付属品>

－プレートカバー	25枚
－成績記入用紙	25枚

【使用目的】

ブドウ球菌及びマイクロコッカスの同定

※※【測定原理】

<原理>

ID 32 スタッフ アピは26個の乾燥基質入りカップを含む32個のカップで構成されています。24時間培養後、目視により反応を判定します。同定は、本システム用の同定ソフトウェアを使用して行います。

<特徴>

ID 32 スタッフ アピは、ブドウ球菌属、マイクロコッカス属および関連菌属であるロチア属、アエロコッカス属の同定を標準化したキットであり、カップを使った26種類の生化学試験と専用データベースを用いて同定を行います。本同定システムの同定可能菌種は、本添付文書の最後にある“陽性率表”に示されています。結果の判定および解析は、目視判定で行います。

※※【操作上の注意】

ID 32 スタッフ アピで最適な結果を得るために下記の点に注意して実施して下さい。

- ・ 本添付文書に記載されている推奨培地を用いコロニーを分離して下さい。（“コロニーの選択”参照）
- ・ 接種菌液濃度をマクファーランド濁度0.5に正確に調製します。
- ・ 菌液は、カップに正確に55μLずつ分注します。

- 培養時間と判定時間を厳守して下さい。
- VP 試験の結果が予想される同定結果に反している場合は VP 試験を再度目視判定して下さい。結果が陽性あるいは弱い陽性の場合は VP 反応結果を手入力して下さい。
- 添加試薬の品質に注意して下さい。使用期限及び保存状態を確認し、アンプル中の試薬は開封後 1 ヶ月以内のものを使用して下さい。
- 検体（採取及び前処理）
臨床材料や他の検体を直接使用して ID 32 スタッフ アピで試験することはできません。
試験に使用する菌株は、通常の細菌検査法に従って適切な培地で分離培養する必要があります。
- ID 32 スタッフ アピシステム専用のデータベースに含まれている菌種の同定のみを行います（本添付文書の最後に記載されている“陽性率表”を参照して下さい）。データベースに含まれない菌種の同定やデータベースに含まれていない菌種であることを確認する目的には使用できません。
- 単一分離菌から得られた純培養菌のみを使用して下さい。

【用法・用量（操作方法）】

＜試薬の調製方法＞

- FB試薬は乾燥ピペットを用いて溶剤を粉末の有効成分が入ったビンに移し入れ、蓋を閉めてよく振盪し、完全に溶解して下さい。溶解後、5 分経ってから使用して下さい。
- 他の添加試薬は、アンプルを転倒し垂直に保ち、試薬をすべて滴ビンに移し入れて下さい。または乾燥ピペットを用いて、試薬をすべて滴ビンに移し入れて下さい。
- 添加試薬は、2～8℃（NIT1試薬及びVP A試薬は2～30℃）で暗所に保存して下さい。使用期限は、外箱の☐マークに記載してあります。滴ビンに移し替えた試薬は、移し替えた日付を滴ビンに記入し、1 ヶ月以内に使用して下さい。
- FB試薬は、非常に光に過敏なのでアルミホイルに包んで冷暗所に保存し、使用時にのみ冷暗所から取り出し、使用後はすぐに戻して下さい。長時間、試薬を試験室内に放置しないで下さい。FB試薬は、液が濃い黄色に変化した場合は、廃棄して下さい。

※※＜必要な器具・器材・試料等＞

本品を使用の際に必要な試薬及び器具

試薬／器具

－サスペンションメディウム, 2 mL（品番 70700）

－試薬：VP A + VP B（品番 70572）

NIT 1 + NIT 2（品番 70442）

FB（品番 70562）

- －ミネラルオイル（品番 70100）
- －デンシマット（品番 99234）またはマクファーランドスタンダード（品番 70900）：濁度0.5
- －マイクロピペットおよびチップ
- －APIWEB® 同定用ソフトウェア（品番 40011）（バイオメリュー社製）

その他関連器具

- －アンプル立て（品番 70200）
- －アンプルプロテクター（品番 70901）
- －密閉容器
- －微生物検査用器具

<測定（操作）法>

コロニーの選択

血液寒天培地、マンニット食塩寒天培地もしくはベアードパーカー寒天培地からコロニーを分離します。

注意：マッコンキー寒天培地も使用可能です。しかし、この培地はブドウ球菌およびミクロコッカスの発育に適切でない場合があります。特に、クリスタルバイオレットを含め培地では菌の発育が抑制されることがあります。

ID 32 スタフ アピの準備

- 包装からID 32 スタフ アピ プレートを取り出します。
- 中の乾燥剤を廃棄します。
- プレートにプレートカバーをのせます。
- アピプレートのフラップ部分に、試験に用いる菌株の情報（検体番号等）を記載します。（操作中に蓋がプレート間で入れ替わる危険があるため、蓋に記入することは避けて下さい。）

※※菌液の調製

- 本添付文書中の“使用上または取扱い上の注意”で指示されている方法でサスペンションメディウム2 mLのアンプルを開けます。もしくは添加物を含有しない2 mLの滅菌精製水を含む試験管を使用して下さい。
- 1～数個の単離されたコロニーを釣菌します。コロニーは、新鮮なものをを用いることをお勧めします。
- マクファーランド濁度0.5に相当する菌液を調製します。デンシチェック、濁度標準液（マクファーランドスタンダード）を用いて濁度を測定します。

プレートへの菌液接種

- 手動接種：
ーサスペンションメディアに調製された菌液を均一に攪拌し、プレートの各カップに55 μ Lずつ分注します。
- URE、ADH及びODCの試験項目（カップ番号1.0、1.1、及び1.2）のカップにミネラルオイルを2滴ずつ重層します。
- プレートにプレートカバーをします。
- 好気条件下で、 $36 \pm 2^{\circ}\text{C}$ 、24時間（ $\pm$ 2時間）培養します。
注意：通気性のふ卵器を使用する場合は、カップ中の培地が乾燥することがあるため、密閉容器中にプレートとともに少量の水を入れた器を入れて培養を行います。これにより湿潤環境が作られ、乾燥を防ぐことができます。

※※【測定結果の判定法】

プレート判定

下記の添加試薬を一滴添加し判定を行ないます。：

- ーNIT 試験（カップ 0.0）：NIT 1 + NIT 2試薬
- ーVP 試験（カップ 0.1）：VPA + VPB 試薬
- ー β GAL ~ PyrA（カップ 0.2 ~ 0.5）FB 試薬

5分後に判定して下さい（10分過ぎた結果は判定しないで下さい）。

- 目視判定：
判定表を参照に、成績記入用紙に記入します。
注意：VP試験は上記に表示した10分後には強い反応を示すことがあります。このような場合は12分後に再度読み取りをして下さい。

解析

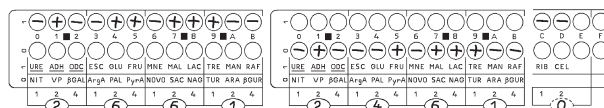
菌種の同定は、本品のデータベース（V 3.0）を使って行います：

- 目視判定後：

得られた結果を、プロフィール番号にコード化します：

記入用紙上で、各試験項目は3つずつのグループに分けられ、各項目に1、2、4の数値が与えられています。グループ毎に陽性反応を示した数値が加算されます。9桁のプロファイル番号をAPIWEB[®] 同定ソフトウェアに手入力し、菌種同定を行います。

上の列で4桁（1.0～1B）、下の列で4桁（0.0～0.B）、RIB 及び CEL（1.C 及び 1.D）試験で9桁の数値が得られます。



2661 2461 0 *Staphylococcus haemolyticus*

■品質管理

本プレートは、各製造工程において体系的に品質管理が行われています。施設毎にプレートの品質管理を実施する場合は、1. *Staphylococcus gallinarum* ATCC[®] 700401TM または 下記の菌株の1つを使用することをお勧めします。

2. *Staphylococcus lugdunensis* ATCC[®] 49576TM

3. *Staphylococcus aureus* ATCC[®] 29213TM

ATCC：American Type Culture Collection, 10801 University Boulevard, Manassas, VA 20110-2209, USA.

	URE	ADH	ODC	ESC	GLU	FRU	MNE	MAL	LAC	TRE	MAN	RAF	RIB	CEL	NIT	VP	βGAL	ArgA	PAL	PyrA	NOVO	SAC	NAG	TUR	ARA	βGUR
1.	+	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	+	+	-	+	-	+	V	+	+	+	+	+	+
2.	V	-	+	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	+	+	-	-	-	+	-	+	+	-	-	-
3.	V	+	-	-	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	-	-	+	V	-	+	+	+	-	-

このプロフィールはコロニア5%ヒツジ血液寒天培地で培養後得られたものです。各国の定める規則に従い、本キット使用者の責任のもとに品質管理を実施して下さい。

【性能】

- 感度・正確性

標準試験菌株を用いて、「用法・用量（操作方法）」欄に記載の方法に従って試験するとき、その同定結果は、用いた標準試験菌株の菌種名と一致します。

- 同時再現性

標準試験菌株を用いて、「用法・用量（操作方法）」欄に記載の方法に従って3回同時に試験をするとき、同定結果は3回とも用いた標準試験菌株の菌種名と一致します。

- 測定範囲

本品の使用は、ID 32 スタッフ アピのデータベースに含まれている菌種の同定に限られます。

※※＜相関＞

24時間培養後：

本データベースに属する保存菌株及び各種材料由来の菌株2,734株が検討されました：

- －90.9%の菌株が正確に同定されました（追加試験を含む）。
- －5.9%の菌株は同定不能でした。
- －3.2%の菌株は誤同定でした。

【使用上または取扱い上の注意】

＜取扱い上（危険防止）の注意＞

- 体外診断用医薬品及び微生物制御検査用
- 微生物検査従事者が使用して下さい。
- 本キットには動物由来製品が含まれます。使用動物の由来や衛生状態は保証されていますが、これは感染性病原体による製品汚染がないことを完全に保証するものではありません。従ってこれらの製品は感染性を有するものとして扱い、飲んだり吸い込んだりしないよう、通常の安全予防策を守って取り扱うことをお勧めします。

- ※※ ● 検査材料、細菌培養、および接種菌液はすべて感染性があるものとして、適切に取り扱う必要があります。検査全体を通じて、細菌を扱う際には無菌操作の実施と通常の注意を払う必要があります。この件に関しては、“CLSI® M29-A, *Protection of Laboratory Workers from Occupationally Acquired Infections Approved Guideline - Current revision*” を参照して下さい。取扱注意事項の追加情報としては、“*Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories - CDC/NIH - Latest edition*” または各国で現在使用されている規程に準拠して下さい。

＜使用上の注意＞

- 使用期限を過ぎた試薬は使用しないで下さい。
- 使用する前に、各試験用試薬及び包装に破損がないことを確認して下さい。
- カップの変形や乾燥剤の袋の破損などが見られるものは使用しないで下さい。

- ※※ ● 以下の手順に従い、注意してアンプルを開けて下さい。

- －アンプルをアンプルプロテクターに差し込んで下さい。
- －アンプルプロテクターに入ったアンプルを片手で垂直に持って下さい（白色プラスチックキャップが上になるように立てます）。
- －キャップをできる限り下向に押します。
- －キャップの溝面部分に親指を置き、前に押出してアンプル先端部を折ります。
- －アンプルをアンプルプロテクターから取り出し、次の使用のため近くに置きます。
- －キャップを注意深く取り除きます。



- 添付文書に示されている相関データは、本書に記載された操作方法を用いて得られたものです。方法の変更や修正は、同定結果に影響する可能性があります。
- 試験結果の解釈は、患者の病歴、検査材料の由来、分離菌株のコロニー形態や鏡検像及び必要となった際に実施される他の検査結果（特に薬剤感受性パターンの結果）を考慮して行う必要があります。
- 期待値結果の範囲
各種生化学性状反応の期待値結果の範囲については本添付文書の最後に記載されている“陽性率表”を参照して下さい。

＜廃棄上の注意＞

使用後試薬、未使用試薬及び汚染された器具類は、感染の危険性があるものとして適切に廃棄して下さい。廃棄物や廃液の取扱は、その種類や危険度に応じて適切な規程のもとに各施設で責任を持って処理及び廃棄（外部専門業者に処理及び廃棄を依頼する）を行って下さい。

【貯蔵方法・有効期間】

ID 32 スタッフ アピ プレートは、包装に表示されている使用期限まで2～8℃で保存して下さい。有効期間は1年です。使用期限は、プレートのパッケージおよび外箱の☒マークに記載してあります。

【包装単位】

25回用

【主要文献】

1. LE MINOR L., VERON M. Bactériologie Médicale. 2ème édition. (1989) Flammarion Medecine-Sciences, Paris.
2. MacFADDIN J.F. Biochemical Tests for the Identification of Medical Bacteria Second Edition (1976) Williams & Wilkins Co., Baltimore, MD.
3. MURRAY P.R., BARON E.J., JORGENSEN J.H., PFALLER M.A., YOLKEN R.H. Manual of Clinical Microbiology. 8th Edition. (2003) American Society for Microbiology, Washington, D.C.
4. SNEATH P.H.A., MAIR N.S., SHARPE M.E., HOLT J.G. Bergey's Manual of Systematic Bacteriology Ninth Edition, Vol. 2 (1986) Williams and Wilkins Co., Baltimore, MD.
5. JELJASZEWICZ J. The Staphylococci Proceeding of the Fifth International Symposium on Staphylococci and Staphylococcal Infections – 26-30 June 1984 in : Zentralblatt für Bakteriologie, Mikrobiologie and Hygiene I. Abteilung (1985) Supplement 14, 1-706 Gustav Fischer Verlag - Stuttgart.

【問い合わせ先】

シスメックス株式会社 CSセンター

〒651-2241 神戸市西区室谷1丁目3番地の2

TEL 0120-265-034

シスメックス・バイオメリュー株式会社

※〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号 大崎セントラルタワー 8階

TEL 03-6834-2666 (代表)

【製造販売業者の氏名または名称及び住所】

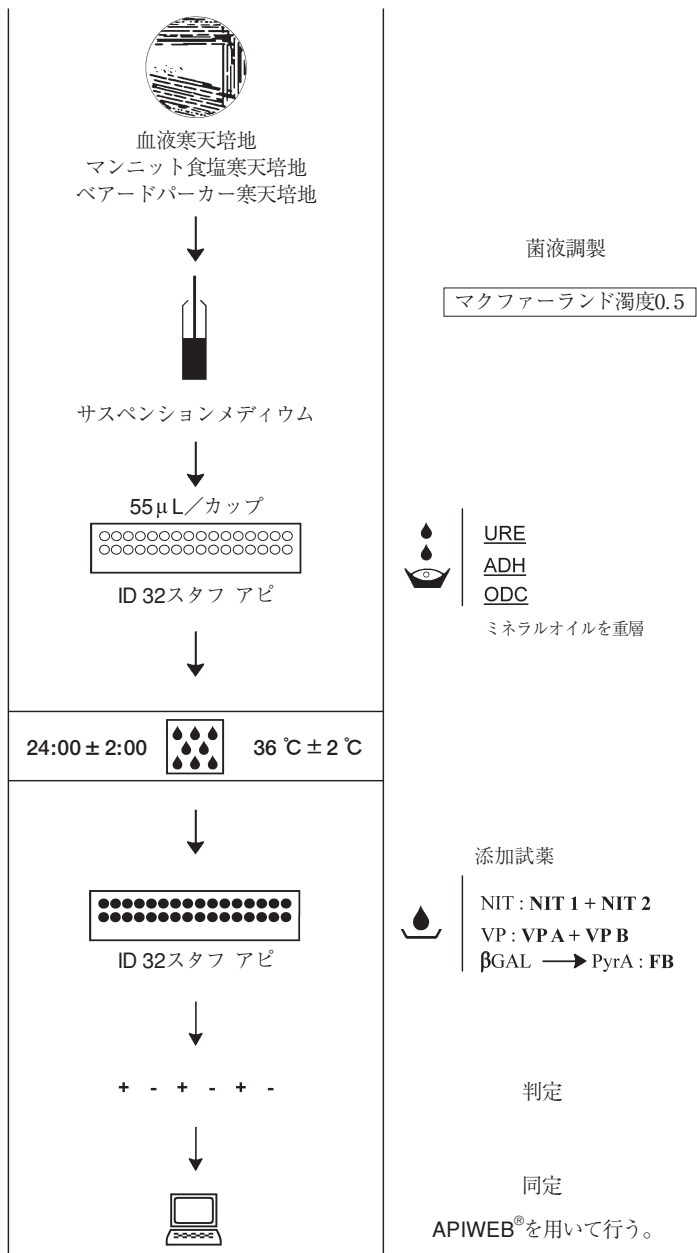
シスメックス・バイオメリュー株式会社

※〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号 大崎セントラルタワー 8階

※※ * 本添付文書は、下記 Web サイトからダウンロードできます。

<http://products.sysmex-biomerieux.net/>

※※操作手順



■判定表

カップ No.	テスト 項目	基 質	反 応／酵 素	成 績	
				陰 性	陽 性
1.0	URE	尿素	ウレアーゼ	黄色	オレンジ色 赤色-紫色
1.1	ADH	L-アルギニン塩酸塩	アルギニンジヒドロラーゼ	黄色	オレンジ 色-赤色
1.2	ODC	L-オルニチン塩酸塩	オルニチンデカルボキシラーゼ		
1.3	ESC	エスクリン	加水分解 (エスクリン)	無色- 淡灰色	茶色-黒色
1.4	GLU	ブドウ糖	発酵 (グルコース)	赤色 赤色-オレン ジ色	黄色 黄色-オレン ジ色
1.5	FRU	果糖	発酵 (フルクトース)		
1.6	MNE	D-マンノース	発酵 (マンノース)		
1.7	MAL	D-マルトース	発酵 (マルトース)		
1.8	LAC	乳糖	発酵 (ラクトース)		
1.9	TRE	トレハロース	発酵 (トレハロース)		
1.A	MAN	D-マンニトール	発酵 (マンニトール)		
1.B	RAF	ラフィノース	発酵 (ラフィノース)		
1.C	RIB	D-リボース	発酵 (リボース)		
1.D	CEL	D-セロビオース	発酵 (セロビオース)		
1.E	ブランク				
1.F					
0.0	NIT	硝酸カリウム	還元 (硝酸塩)	NIT1試薬 + NIT2試薬 ／5 分 ～ 10 分 無色 ピンク色-紫色	
0.1	VP	ピルビン酸ナトリウム	アセトイン産生 (VP)	VPA試薬 + VPB試薬 ／10 分 ～ 12 分 無色 ピンク色-赤色	
0.2	βGAL	2-ナフチル-β-D-ガラクト シド	βガラクトシダーゼ	FB試薬 / 5分 ～ 10 分 (βGAL → PyrA) 無色 淡い紫色 淡いオレンジ色 紫色	
0.3	ArgA	L-アルギニン-β-ナフチル アミド塩酸塩	アルギニンアリルアミダーゼ	無色 淡いオレンジ色 オレンジ色	
0.4	PAL	β-ナフチルリン酸ナトリウム	アルカリフォスファターゼ	無色 淡い紫色 淡いオレンジ色 紫色	
0.5	PyrA	L-ピロリドニル- β-ナフチルアミド	ピロニドリルアリルアミ ダーゼ	無色 薄いオレンジ色 オレンジ色	
0.6	NOVO	ノボジオシンナトリウム	耐性 (ノボジオシン)	赤色 赤色-オレン ジ色	黄色 黄色-オレン ジ色
0.7	SAC	白糖	発酵 (サッカロース)		
0.8	NAG	N-アセチルグルコサミン	発酵 (N-アセチル-グルコ サミン)		
0.9	TUR	D-ツラノース	発酵 (ツラノース)		
0.A	ARA	L-アラビノース	発酵 (アラビノース)		
0.B	βGUR	p-ニトロフェニル-β-D-グ ルクロニド	β グルクロニダーゼ	無色	黄色
0.C	ブランク				
0.D					
0.E					
0.F					

陽性率表（36±2℃、24±2時間培養、単位％）

※※	ID 32 STAPH	V3.0	URE	ADH	ODC	ESC	GLU	FRU	MNE	MAL	LAC	TRE	MAN	RAF	NIT	VP	βGAL
	<i>Aerc.viridans</i>		0	0	0	44	100	100	100	100	78	90	70	26	0	18	0
	<i>Derma.nishinomiyaen.</i>		0	10	0	1	10	0	0	0	10	1	0	0	0	0	1
	<i>Kocuria kristinae</i>		1	0	0	0	100	100	99	87	20	99	0	0	0	13	20
	<i>Kocuria rosea</i>		33	0	0	0	1	33	0	0	0	0	0	0	100	0	1
	<i>Kocuria varians</i>		99	0	0	0	100	40	0	0	74	20	0	0	80	0	90
	<i>Mic.luteus</i>		38	0	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	5	1	1
	<i>Mic.lylae</i>		0	11	0	1	0	11	0	0	0	1	0	0	11	0	1
	<i>Rothia mucilaginoso</i>		8	0	0	67	92	100	100	100	1	92	0	0	99	100	25
	<i>Staph.arlettae</i>		0	0	0	1	100	100	67	100	100	100	100	50	0	0	50
	<i>Staph.aureus</i>		74	82	0	1	100	100	100	99	95	99	94	2	96	97	1
	<i>Staph.auricularis</i>		0	40	0	0	100	99	0	30	0	40	0	0	74	0	1
	<i>Staph.capitis</i>		10	53	1	0	97	100	86	47	26	0	30	1	88	81	0
	<i>Staph.caprae</i>		70	99	0	0	100	99	100	29	83	75	26	0	99	87	0
	<i>Staph.carnosus</i>		0	100	0	0	100	100	99	0	100	90	100	0	100	1	100
	<i>Staph.chromogenes</i>		92	99	1	0	99	100	99	65	95	95	11	1	100	1	14
	<i>Staph.cohnii cohnii</i>		1	0	0	0	97	100	21	83	1	90	75	0	5	75	1
	<i>Staph.cohnii ureal.</i>		99	0	0	1	100	100	90	99	75	100	99	0	1	67	67
	<i>Staph.epidermidis 1</i>		94	74	1	1	100	99	39	100	79	1	1	0	74	97	1
	<i>Staph.epidermidis 2</i>		86	20	13	1	100	100	53	100	46	1	1	0	90	95	1
	<i>Staph.equorum</i>		98	0	0	40	98	99	94	95	75	95	98	0	100	0	65
	<i>Staph.gallinarum</i>		100	0	0	99	100	100	100	100	43	96	96	86	100	1	43
	<i>Staph.haemolyticus</i>		1	91	0	1	99	77	1	100	80	97	64	0	89	95	1
	<i>Staph.hominis 1</i>		92	6	0	1	100	99	1	100	45	89	5	0	92	93	0
	<i>Staph.hominis 2</i>		81	73	0	1	100	99	75	100	94	98	1	0	94	99	0
	<i>Staph.hyicus</i>		33	100	0	0	100	100	100	0	96	99	0	0	100	4	0
	<i>Staph.intermedius</i>		99	74	0	1	100	100	100	100	99	94	47	0	99	18	99
	<i>Staph.kloosii</i>		50	0	0	1	99	100	0	50	50	89	96	5	0	44	33
	<i>Staph.lentus</i>		7	0	0	100	100	99	100	85	99	100	100	100	99	5	1
	<i>Staph.lugdunensis</i>		65	1	99	0	100	99	94	88	74	94	1	0	99	99	1
	<i>Staph.saprophyticus</i>		97	0	0	0	99	99	0	99	93	99	84	0	4	96	93
	<i>Staph.schleiferi</i>		0	97	0	0	100	80	100	0	3	66	1	0	89	97	26
	<i>Staph.sciuri</i>		0	0	0	100	100	100	100	99	73	95	100	0	99	1	1
	<i>Staph.simulans</i>		90	99	0	0	100	100	49	8	97	97	74	0	95	18	79
	<i>Staph.warneri</i>		94	30	0	0	99	99	14	98	19	93	70	0	33	92	0
	<i>Staph.xyloso</i>		85	0	0	26	100	100	76	90	88	90	89	1	89	26	88

ArgA	PAL	PYRA	NOVO	SAC	NAG	TUR	ARA	ßGUR	RIB	CEL
0	0	30	26	100	61	44	39	39	52	4
0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0
7	7	93	7	100	0	27	7	0	7	1
67	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0
0	0	10	0	1	0	0	0	0	0	0
92	10	74	0	1	0	0	0	0	0	0
44	0	44	0	1	11	11	0	0	0	0
92	33	75	8	92	0	92	8	0	8	0
0	5	0	75	100	0	33	100	99	99	0
1	99	35	1	98	98	84	3	0	1	1
100	0	12	0	40	0	1	0	0	0	0
1	5	3	7	72	0	1	0	0	7	0
0	91	67	0	0	1	1	0	0	1	0
0	99	67	1	0	26	0	0	0	0	0
0	88	26	0	99	38	11	0	0	84	0
1	20	1	92	0	8	1	0	5	4	0
0	75	75	99	0	75	0	0	99	1	0
0	94	1	2	98	1	87	0	0	1	1
0	6	1	1	99	9	53	0	0	1	1
0	20	0	82	100	65	1	27	99	10	4
0	99	4	57	100	100	86	100	99	1	86
0	3	98	1	99	94	45	1	29	18	0
0	1	5	5	91	73	93	1	1	7	0
0	94	1	6	99	13	99	1	0	6	0
0	100	1	0	99	99	1	1	96	96	0
1	99	88	1	99	100	3	1	0	99	0
0	56	56	98	5	5	0	33	44	56	0
0	35	10	26	100	80	70	26	0	26	100
0	1	99	1	100	76	1	0	0	1	0
1	4	29	93	99	68	85	0	1	1	1
0	100	49	0	1	74	0	0	0	1	0
0	74	0	43	86	82	75	60	39	60	75
0	2	82	5	94	90	0	1	74	21	1
0	1	1	4	100	10	26	0	67	16	0
0	83	60	85	99	89	37	50	89	19	10

製造販売元 シスメックス・バイオメリュー株式会社

※〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号 大崎セントラルタワー8階

